



交野の未来をいっしょに語り合う 市民ワークショップ

報告書

令和 3 年 12 月

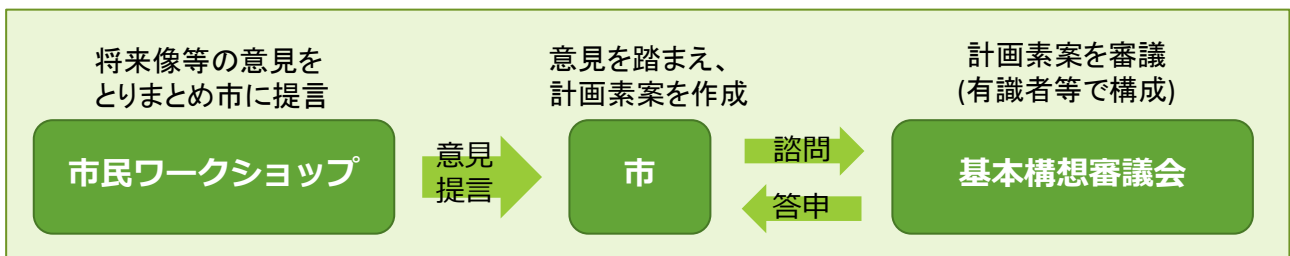
目 次

1 市民ワークショップについて.....	1
2 ワークショップの進め方	2
3 目指すまちの姿.....	3
4 市民ワークショップ開催経過.....	34
5 市民ワークショップ関係者.....	35

1 市民ワークショップについて

(1) 市民ワークショップの目的

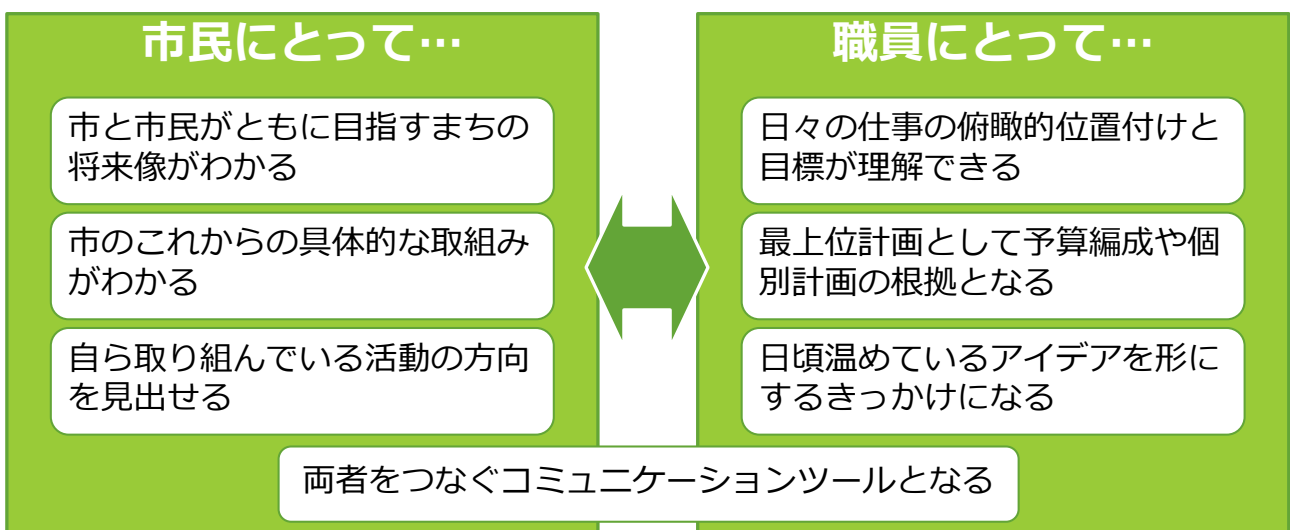
- 第5次交野市総合計画基本構想の策定にあたり、市内在住の方や通勤・通学をしている方など、交野に関わりのある方々とともに「交野市が目指すべきまちの将来像」を考えることを目的に開催しました。
- 各参加者は全5回のグループワークの中で、多様な視点から交野の未来について意見を出し合い、取りまとめる作業を行いました。
- 本報告書は、ワークショップの中で検討した結果を表すものです。この内容は、今後作成する「第5次交野市総合計画基本構想（素案）」に反映します。



(2) 協働で作成する第5次交野市総合計画

- 第5次交野市総合計画は、多様な主体の参画と協働（共同による計画づくり）により策定します。本ワークショップもその中の重要な取り組みの一つとして開催しました。

市民意識調査	市民ワークショップ	基本構想審議会	パブリックコメント
2,000人を対象に実施。アンケート調査結果を計画策定に活用します。【令和2年実施】また、令和3年度中に、追加アンケートも検討中です。	まちの将来像等について意見をとりまとめ市に提出します。市は意見をもとに作成した「基本構想（素案）」を基本構想審議会に提出します。【令和3年10～12月頃予定】	有識者、関係団体、市民など20人で構成される会議体です。「基本構想（素案）」「基本計画（素案）」について審議します。【令和3年10月～4年9月頃予定】	基本構想審議会で審議された「基本構想（案）」「基本計画（案）」について、広く意見を募集します。【令和4年夏～秋頃予定】…令和4年12月議会に提出予定



2

ワークショップの進め方

ワークショップ（全5回）は、次の流れで作業を進めました。

第1回：交野の「良いところ」「残念なところ」を見つけましょう！

- 5つの班に分かれ、各テーブルで交野の「良いところ」「残念なところ」について意見交換



第2回：「良いところ」「残念なところ」から、交野がどんなまちになったら良いか考えましょう！

- 前回意見を出し合った交野の「良いところ」「残念なところ」を踏まえ、「交野がどんなまちになったら良いか」について意見交換（前回と同じ班分け）



第3回：「目指すまちの姿」を整理しましょう！

- 分野別に班を分け、参加者はそれぞれ興味のある分野（班）に参加
- 各班で分野に沿った「ビジョンの種カード（前回検討した『どんなまちになったら良いか』の各意見が記載されたカード）」を複数枚選択するとともにグループ化し、それぞれの分野における「目指すまちの姿」として整理



第4回：「目指すまちの姿の実現に向けて私（私達）ができることを考えましょう！ 「目指すまちの姿」にどこまで近づけたか確認する方法を考えましょう！

- 第1回で意見として出た交野の「良いところ」「残念なところ」の中から、前回整理した「目指すまちの姿」と関連するものを選択
- 「目指すまちの姿」が実現したことを確認する方法について意見交換
- 「目指すまちの姿」の実現に向けて自分たちができる取り組みについて意見交換



第5回：ワークショップのまとめ（案）について意見を出しましょう！ 「目指すまちの姿」全体を通じたキャッチフレーズを考えましょう！

- これまで分野ごとに各班で検討してきた「目指すまちの姿」「交野の良いところ、残念なところ」「目指すまちの姿が実現したことを確認する方法」「目指すまちの姿が実現したことを確認する方法」について、最終まとめに向けた意見交換
- 各班より提示された「目指すまちの姿」を踏まえ、その姿が実現した交野市をイメージし、全てを貫くキーワードや、代表するキャッチフレーズを各班で検討

3

目指すまちの姿

「目指すまちの姿」が実現した交野市を表すキャッチフレーズ（またはキーワード）

- A班： 自然が、ひとが、つながり育ち合うまち☆かたのみどりが笑顔を醸成するまち☆かたの
- B班： ゆったりのびやか みんなの力で（でも）ダイナミックに進化するまち
- C班： あ～やこうのゆうても ほっこりゆったり「和」むかたの
- D班： きらめく創造 なつかしくて新しい～まじわるまち交野～
- E班： みんなが主体的に・つながり・やすらぎ・挑戦・全てが交わる
⇒ 自然・生活・子育て 先進「環境」

各分野における「目指すまちの姿」



分野		目指すまちの姿
A班	子育て・教育系	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもが自ら学びたいと思えるまち ②のびのび育てられるまち ③欲しいときに欲しい分だけ支援を受けられるまち
B班	健康・福祉・人権・多文化共生系	<ul style="list-style-type: none"> ①笑顔が交わせるまち ②つくるまちづくりから育てるまちづくりへ ③誰もが情報に困らないまち
C班	防災・安全・安心・住まい系	コミュニケーションのまち <ul style="list-style-type: none"> ①みんなが気軽に話せてコミュニケーションがとれるまち ②みんなが寄り添い、優しく、穏やかに見守り合っているまち ③里山を身近に感じ、交通アクセスが良く、いつまでも住みたいと思えるまち
D班	都市環境系	<ul style="list-style-type: none"> ①フラットと寄りたいまち ②自然を体験できるまち ③心の風景があるまち
E班	自然・文化・歴史・生涯学習系	<ul style="list-style-type: none"> ①あらゆる人がいきいきと活動できるまち ②市と市民が思いを共有できるまち ③環境を活かすまち

上記の「目指すまちの姿」それぞれの詳細については、次ページ以降のとおりです。

A班：子育て・教育系

目指すまちの姿①

子どもが自ら学びたいと思えるまち

①目指すまちの姿の内容

学校を核に様々な人たち（世代・立場）との様々な交流の形（＝大人たちの学びの場でもある）があり、また交野市の魅力である自然、そして公共施設や事業所等を含めた本市の資源全体が学びのフィールドになります。既存の枠を超えた人たちとの交流や自然環境を活かした中で学ぶことで、子どもたちの心と体、好奇心を育み、主体的に学ぶ気持ちと生きる力を醸成します。

②関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 自然○ 緑の多い里、山。○ 人が良い。○ コミュニティ（人のつながり）○ まちのサイズ、広すぎず、狭すぎず。○ 学力レベルが高い。○ 教育に力を入れている。○ 子どもが元気。○ 人が優しい、穏やか。○ 市民活動が活発、多彩な人材が豊富。○ 歴史ある、古くからのまち。○ ロマンチックな伝説がある。（七夕）	<ul style="list-style-type: none">○ 田畑→家になる。都市化○ 自然が失われていく。○ 学校が古い。（ボロボロ）○ 公園が少ない、子どもが遊べる場所が少ない。○ 企業が少ない、お店が少ない。○ 身近にある文化財、施設が活かしきれていない。○ 大学がない。○ 強みを生かしきれていない。○ 縦割りを感ずる。（横の連携が弱い）○ 市の設備、もっと上手く使う。（公民館）

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- 学校を訪れる人が増えている。(多くの市民が学校を活用)
 - 学校のカリキュラムに自然・環境の科目がある。
- ⇒ それが交野の教育がメディアで報道される。

意見・アイデア

- ・ 教育・子育てに充てられる市の予算が増える。(施策が充実される)
- ・ 開かれた学校
- ・ 学校を訪れる人が増える。
- ・ 学校で地域の会議が行われている。
- ・ 放課後に学校で民間企業が活動。
- ・ 子どもが不安なく学習に取り組んでいる。(学校でなくても家などでも)
- ・ 交野の教育がメディアで報道される。
- ・ 中学生が小学生を教えている。
- ・ 交野の子どもが何かしらの賞をとる。(学校が積極的に支援)
- ・ 学生連携
- ・ 子どもの貧困率が改善される。
- ・ 環境・自然教育がカリキュラムにある。
- ・ 子どもが自由に(危険などがなく)外で遊んでいる。
- ・ 図書館の利用人数と貸出冊数が多い。
- ・ 図書館が利用しやすくなる。
- ・ 図書館へのアクセスがしやすい。
- ・ 図書館の駐車場が増える。
- ・ 図書館のサービスが周知される。
- ・ 子育て世帯の流入人口が増える。
- ・ 転入・転出時のアンケートで交野の教育について満足度(期待)が高い。

④私たちができること

- 公園の充実
- 見守り活動の実施
- 交通(道路)の整備
- 自分の強みを学校で教える。

A班：子育て・教育系

目指すまちの姿②

のびのび育てられるまち

① 目指すまちの姿の内容

子どもたちにとって遊びは学びであり、思い切り遊べることが心と体の成長に繋がります。

公園だけではなく自然に触れ合うことができる遊び場があることで、小さい子どもから大人までの多様な世代の憩いの場所になり、多くの人が利用することで子供たちを見守る目が増え、親も安心して子どもたちを外に遊びだせることができます。

また、学校でも家庭でもない安全な第三の場所があることで、子どもたちの拠り所となり、心も体も伸び伸びと育つまちへとつながります。

② 関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 自然が多く、子どもを育てる環境がよい。○ 空気・水がきれい。○ 緑の多い里、山○ 大阪なのにクワガタがとれる。○ 水路にザリガニがいる。○ 観光資源ある。ハイキングコースがある。○ 人がよい。(地域も、住む人も)○ コミュニティ(人のつながり)○ まちのサイズ、広すぎず、狭すぎず。○ 静か、落ち着いている。○ 自然災害が少ない。○ 犯罪が少なく、治安がよい。○ 人が優しい、穏やか。○ 交野の環境を愛している人が多い。○ 地域のネットワークが強い。	<ul style="list-style-type: none">○ 田畑→家になる。都市化○ 自然が失われていく。○ 川が汚くなった。○ 学校が古い。(ボロボロ)○ 公園の規制が強くなった。○ 公園が少ない、子どもが遊べる場所が少ない。○ 身近にある文化財、施設が活かしきれていない。○ 強みを生かしきれていない。○ 縦割りを感ずる。(横の連携が弱い)○ 市として緑をどうするかビジョン(具体策)がない。○ 先進的な施策が出てきていない。○ 夜道が暗い。(夜歩けない。)○ 道路が狭い。危険○ 自転車道が整備されていない。○ 貧困、人権などの課題が見えにくい。○ 文化的な施設が不十分。(勉強スペース、図書館、WiFi、本屋)○ 市からの放送、スピーカー少ない?聞こえないところがある。○ 市の設備、もっと上手く使う。(公民館)

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- 子どもだけで行ける第3の場所がある。

意見・アイデア

- ・ 公園に人が多くいる。
- ・ 人通りの多い所に遊び場がある。
- ・ 第3の場所が市内で増える。
- ・ ボール遊びができるようになる。
- ・ 自然とふれあえる環境が身近にある。
- ・ 親のいない公園
- ・ 子どもの人通りが多い。
- ・ 大人が子どもに注意できる。程よいお節介。

④私たちができること

- 子どもの自由な遊びを見守る。
- 程よいお節介。

A班：子育て・教育系

目指すまちの姿③

欲しいときに欲しい分だけ支援を受けられるまち

① 目指すまちの姿の内容

子どもが健やかに育つための土台は家庭環境にあり、親（保護者）が安心して子育てできることが大切です。共働き世帯等も増加していく中で、他者との適度な距離感で、いつでも情報や支援を受けられる関係が重要であり、また、子育てに必要な情報や支援が、気軽にタイムリーに受けられる子育てのしやすさに繋がります。

② 関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ コミュニティ（人のつながり）○ 人がよい。（地域も、住む人も）○ ボランティア活動がさかん。○ 地域のネットワークが強い。	<ul style="list-style-type: none">○ 市に金がない。○ SNS や LINE を使った情報発信、共有がない。○ 情報発信が下手。○ ホームページの情報発信が少ない。（遅い）○ 市のホームページが見にくい。○ HP でわからない。○ 先進的な施策が出てきていない。○ 広報力が弱い気がする。○ 高齢者への速い情報伝達がない。○ 市民、地域のニーズ、意見の捉え方が不十分。○ パブリックコメントが聞くだけになっている。○ 公共施設分散○ 賃貸マンションが増え、自治会入会が減少。○ 他市と比べて福祉が薄いと思われる。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- 情報が行き届く環境が整備されている。
- 顔を見なくても情報共有できる LINE グループ

意見・アイデア

- ・ 誰でも必要な情報がいつでも手に入る。
- ・ SNS をもっと活用。
- ・ ホームページ、広報誌より SNS
- ・ (情報) 何が行われているかがくどくらい提供されている。
- ・ 子育て情報や市民団体等の活動がホームページや SNS などですべていつでも見れる。
- ・ 各種支援に関するまとめられた冊子がいつでも手にとれるところにある。
- ・ 交野の子育てがメディアで報道される。
- ・ 子育て世帯向けのイベントの充実と出席率の確保。
- ・ 父親教室がある。
- ・ 休日に教室がある。
- ・ 放課後の子どもの預かり体制が充実。
- ・ 待機児童数ゼロ
- ・ 子育ての取り組みの仕掛け人が増える。
- ・ 転入、転出時のアンケートで交野の子育てについて満足度 (期待) が高い。

④私たちができること

- 市や市内団体のホームページ等の充実
- SNS の開設
- 市内商業施設や駅などでの広報活動など

B班：健康・福祉・人権・多文化共生系

目指すまちの姿① 笑顔が交わせるまち

① 目指すまちの姿の内容

ほどよい距離感でお節介のやける近所づきあいがある環境をつくり、あらゆる世代の住民が安心して笑顔で暮らせるまちにすることが大切です。

日頃からあいさつを交わしたり、趣味やイベント等の場を設け、地域や世代を超えた交流を行うことで、住民同士の仲間意識が向上し、普段から助け合える関係のあるまちです。

② 関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 犯罪が少なく、治安がよい。○ 人が優しい。○ 人が穏やか。○ 市民活動が活発。○ 地域のネットワークが強い。○ 自然が多く、子育てしやすい。	<ul style="list-style-type: none">○ 人が安心して歩けない。○ 市内の移動が不便。○ 公園が少ない。○ 住宅地の空き家が多くなっている。○ 柔軟に動ける市民活動団体が無い。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ①】

- お互いあいさつをする人が増えている。

【まとめ②】

- 住民の仲間意識が向上する。

意見・アイデア①

- ・ 行き交う人が顔を見て挨拶をしている状態が日常となっている。
- ・ 新しく住む人と古くから住む人が交流があり会話できる。

意見・アイデア②

- ・ 市民＝行政、インタラクティブな情報経路
- ・ 災害時に助け合える。情報共有ができる地域のつながりがある。
- ・ 自分の安全・安心を確保した上で他の人を助けられる仕組み・体制づくり。
- ・ 新たな「自治会」
- ・ 自治会に年代別の分科会がある。(新たな自治会)
- ・ おしゃべり処のあるまち
- ・ フレンドリーな町内会
- ・ 好きなこと、興味のあること、しんどいことを話せるコミュニティができた。

④私たちができること

- 趣味のサークル（集まり）をつくる。
- 挨拶をする。
- 自治会活動に参加する。
- 自治会に多く顔を出す。
- 災害時は地域で声かけをする。
- 好きなこと、興味のあること、困っていることを発信してみる。

B班：健康・福祉・人権・多文化共生系

目指すまちの姿②

つくるまちづくりから育てるまちづくりへ

① 目指すまちの姿の内容

今までの「行政主体のまちづくり」から、「市民主体のまちづくり」への転換を行い、市民が積極的にまちを育てる意識の醸成が重要です。

昨今の災害の激甚化や業務の煩雑化等、行政のみの対応が難しい状況であるため、今後は行政と市民が相互に助け合い、市民組織が活発に活動し、行政の対応が困難な場合でも、行政と市民組織がタッグを組み、ダイナミックな市の運営ができるまちです。

② 関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 地元愛が強い。○ 和。市民の災害対応。○ 市民活動が活発。○ ボランティア活動が盛ん。○ 多彩な人材が豊富。○ 市民の行政への協力意識が高い。○ 役所の職員にフレンドリーな人が多い。	<ul style="list-style-type: none">○ 縦割りを感じる。(横の連携が弱い)○ 市民・市役所の感覚のずれあり。○ 市民活動団体、パワーの活用が十分でない。○ 賃貸マンションが増え、自治会入会が減少。○ 地元の生産力がない。(農業・産物)○ 商店街の元気がない。○ 働く場所が少ない。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ①】

- 意見交換できる場がある。

【まとめ②】

- 市民主体のまちづくり組織や体制が整備されている。

【まとめ③】

- 産業が成長する指標がある。

意見・アイデア①

- ・ 意見交換できる場が多くある。
- ・ 好きなこと、興味のあること、しんどいことを話せるコミュニティができた。

意見・アイデア②

- ・ 市民組織、20～40代が参画。
- ・ 行政にコンサル、コーディネート、アントレプレナーがいる。
- ・ 目的別、分野別市民組織（LLP）
- ・ 関係人口、雇用増大
- ・ 市民主導の組織と活動。
- ・ 有事の際に対応できるよう変化可能な組織をつくる。
- ・ 何かがあった時に対応する準備が必要→今ある組織を活用する仕組みづくりなど
- ・ 平常時にも活動が継続できる組織体制（普段は別の活動をしている等）

意見・アイデア③

- ・ 外国人労働者が増える。
- ・ 企業数が増える。
- ・ 空き家が減る。

④私たちができること

- 地元のお店を使う。
- 場と話題の提供。
- 趣味グループを立ち上げる。活動する。
- イベントを主催し参加を募る。
- 地元の産品を使う。

B班：健康・福祉・人権・多文化共生系

目指すまちの姿③

誰もが情報に困らないまち

①目指すまちの姿の内容

高齢化や多様化が進む中で、誰もが必要とする情報を得ることができなければなりません。

そのためには、行政・市民・企業など、あらゆる立場の人が双方向に情報を共有できる仕組みが必要です。それぞれが持つ情報を発信し、多種多様な情報がストックされる場があり、また、誰でもその情報にアクセスできる環境が整備されたまちです。

ICT（情報通信技術）の活用支援だけでなく、移動支援や交通インフラの整備・拡充により、外に出て情報を得ることのできる環境を整備することや、各コミュニティでの情報交換・共有が活発に行われる土壌づくりも重要となります。

②関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 電車の便が良い。○ JR、京阪、両方ある。○ 地域のネットワークが強い。○ 多様な人材が豊富。○ 教育に力を入れている。	<ul style="list-style-type: none">○ 駅から遠いところに住宅が多い。○ バスの本数が少ない。○ 道路が狭い。○ 地域による利便性の格差。○ 行政の発信力が弱い。○ 情報発信が下手。○ 情報が遅い。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ①】

- 行政・市民・企業みんなでつくる情報拠点がある。

【まとめ②】

- 受け取れる、発信できる、両方できる仕組みがある。

意見・アイデア①

- ・ 欲しい情報を調べればネットですぐに出る。(市に関すること)
- ・ MaaS 完成
- ・ 交野市発信の SNS ができる。
- ・ 知りたい情報の周辺情報も知ることができる。
- ・ 見つけたい情報がすぐに見つかる。
- ・ 掲載している情報がきちんと整理されている。
- ・ 行政、市民、企業のいずれが発信する情報も、頻繁に更新されている。(鮮度が重要)
→団体の意識向上にもつながる。

意見・アイデア②

- ・ 交野市のポータルサイトが整備されている。
- ・ 高速 NW。行政、医療
- ・ 電話ボックスのような場所で「音声で質問、画面に答え」の装置
- ・ 好きなこと、興味あること、しんどいことを話せるコミュニティができた。
- ・ 自分で調べることができない人にも情報が届き、選択できる。
- ・ 新しい「自治会」
- ・ ネット以外にも情報を取得できる場がある。
- ・ 誰でもどこにでも行ける。

④私たちができること

- あまり行かない地域にも行ってみる。
- 交野の良いところ(名所)を探す。発信する。
- 情報収集と提供
- 地元の詳細を知る。

C班：防災・安全・安心・住まい系

コミュニケーションのまち

目指すまちの姿①

みんなが気軽に話せてコミュニケーションがとれるまち

①目指すまちの姿の内容

日ごろから近所で挨拶を交わし合い、世代を問わず気軽に話し合うことができます。あらゆる世代・立場の方々が集まる場所があり、日常的なコミュニケーションが豊かになることで、自治会・ボランティアグループ等が中心となって、地域の繋がりは強くなり、日常および非常時で自然に助け合いができる関係を築いています。

②関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 地元愛が強い。○ 交野の環境を愛している人が多い。○ 市民活動が活発。○ 人が優しい。○ 人が穏やか。○ 役所の人フレンドリー	<ul style="list-style-type: none">○ 芋掘り、いちご狩りをしているところ（私市）をしているところが少なくなった。○ 公園の規制が強くなった。○ 道路沿いの整備が弱い。（飲食店等の少なさ）○ 地元の生産力がない。（農業・産物）○ 交野まつりの花火がなくなった。○ 庁舎が古い。（なんとなく活気がない）○ SNSを活用して情報発信すべき。○ まだまだ縦割り行政のところがある。○ インフラが古くなっている。○ 行政の発信力が弱い。○ 行政の発信力○ 市民活動の行政バックアップが弱い。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- イベントがたくさんある。
- 情報がたくさんあり、安心して過ごせる。

意見・アイデア

- ・ 自治会の防災イベントが盛り上がる。
- ・ 異世代交流ができています。(小学校で常時行われている。)
- ・ 自治会に入っていなくても自治会とまちの情報が伝わる。
- ・ マルシェ、カフェの開催。(月1回)
- ・ 世代を越えて交流できるボランティアカフェを公民館、自治会館で運営。
- ・ 交野市の公式アカウントができた。LINE、ツイッター
- ・ 行政からのプッシュ型の情報発信がある

④私たちができること

- 自治会の良いところをまとめる。伝える。
- 自治会・民間団体が主となり企画し、フェスなど実施。
- キラキラフェスタのような自治会の魅力をイベントなどで発信する。
- カテゴリーテーマを正確に。
- 交野市の魅力を SNS で発信する。

C班：防災・安全・安心・住まい系

コミュニケーションのまち

目指すまちの姿②

みんなが寄り添い、優しく、穏やかに見守り合っているまち

①目指すまちの姿の内容

コミュニケーションによる顔見知りが増えることで、周囲に対して目くばり、気くばりする気持ちが生まれ、その地域力が防災・防犯に強いまちづくりへと繋がります。

緊急時に情報が伝達できる仕組みがあり、近所に住んでいる人同士が情報を共有できるまちです。

みんなで見守り合う行動により、社会的弱者、お年寄りや子どもが安心して暮らすことができるまちになります。

②関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 自然が多く、子どもを育てる環境がよい。○ 子どもを遊びに連れて行けるところが多い。○ 市民活動が活発。○ やんちゃな子どもが少ない。○ 人が穏やか。○ 子どもが元気。○ 人が優しい。○ 住んでる人が良い。○ 治安が良い。	<ul style="list-style-type: none">○ 防災無線が聞こえない。○ 大きな公園がない。○ 公園の規制が強くなった。○ 空き家が多い。○ 子どもが遊べる場所が少ない。○ 産婦人科が少ない。○ 道路沿いの整備が弱い。(飲食店等の少なさ)○ 地元の生産力がない。(農業・産物)○ 商業施設が偏っている。○ 交野まつりの花火がなくなった。○ 企業が少ない。○ 市民活動の高齢化。○ SNSを活用して情報発信すべき。○ 行政の発信力が弱い。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- コミュニケーションがとれやすい。(人與人)
- 参加しやすい日時にイベントがある。

意見・アイデア

- ・ 高齢者・障がい者にも迅速に伝達できる仕組みの構築。
→防災無線のようなシステム、聴覚障がいの方は見える化。
- ・ 災害時の避難場所やルールをみんなが知っている。
- ・ 防災セミナー、イベント
夫も参加できる日曜日、年2回
- ・ 近所に住んでいる人同士が互いを知っていて、挨拶ができる関係である。
- ・ 地域ごとの防災マニュアルがあり、地域ごとに連携している。
- ・ 空き家・古民家をコミュニケーションスペースとして利用ができる。(1戸/自治会)

④私たちができること

- 防災イベント、セミナーで地域力を発信する。
- 地域の見守り体制を構築する。

C班：防災・安全・安心・住まい系

コミュニケーションのまち

目指すまちの姿③

里山を身近に感じ、交通アクセスが良く、いつまでも住みたいと思えるまち

①目指すまちの姿の内容

どの地域からも公共交通へのアクセスが良く、あらゆる世代が利用できます。里山や田畑の自然環境と住まいの景観が調和したまちが、みんなが気持ちよく暮らせる交野のまちです。

このまちに住んでいるみんながまちの魅力を築くことで、自分のまちにより親しみが生まれ、それが安心につながり、いつまでも住み続けたいと思えるまちになります。

②関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 自然が多い。○ 地下水○ 水がおいしい。○ 山に囲まれている。○ 水源が地下水。○ 駅が多い。○ 大阪と京都に近い。(どっちにも行きやすい)○ 交通の便がよい。(JR・京阪)(第二京阪道路)○ 鉄道、道路、アクセス良い。	<ul style="list-style-type: none">○ 景観が悪くなった。○ 田んぼが少なくなった。○ 川が汚くなった。○ 芋掘り、いちご狩りをしているところ(私市)が少なくなった。○ 地域による利便性の格差。○ 市内を回るバスの便が悪い。○ 駅から遠いところに住宅が多い。○ 山手のアクセス悪い。○ 公共交通バスの本数少。○ 地元の生産力がない。(農業・産物)

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- 誰もが便利に移動できる。
- 親しみある街並みがある。

意見・アイデア

- ・ 手をあげれば乗せてもらえる、定期的なコミュニティバス。(4回/1日)
- ・ 住民が親しみをもって利用できる通り名のある街路。(10通り)
→「神宮司ぶどう通り」など。ワークショップで公募をする。

④私たちができること

- 地域でバスを運営する。
- 里山保全活動
- 里山保全をビジネスにする。

D班：都市環境系

目指すまちの姿①

フラッと寄りたいまち

①目指すまちの姿の内容

人の交流や四季を感じる街並みがあり、いつでも気軽に参加できるイベントが開催されている。フラッと立ち寄ることのでられる感動は生活に彩を与えてくれます。

②関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 川遊びができる。○ 手頃な大きさ（自転車で市の端から端まで行ける。）○ 星のブランコ、ハイキングコースなど、家族で楽しめる。○ 貸し農園が身近にあり、楽しめる。○ 色んなものがある。○ 七夕伝説、地名○ 農村の雰囲気と歴史が感じられる。○ 身近に文化遺跡がたくさんある。○ 古い街並みを楽しめる。○ 静かなまち。○ 悪人がいない。○ 治安○ 多彩な人材が豊富。○ ボランティア活動が盛ん。○ 大阪・京都へのアクセス。○ 電車に乗ったらアクセスがいい。○ 電車の便がよい。JRと京阪、どちらも便利。○ 都心とのほどよい距離感○ JR、京阪、両方ある。	<ul style="list-style-type: none">○ 自然の豊かさを活かしきれていない。○ 農家直売の朝市が次々に閉鎖されている。○ 中途半端○ 文化財があるのにあまり知られていない。○ 星のブランコ来場者と地域経済貢献へのつながりが感じられない。○ 都市計画の策定と運用施策がミスマッチしているのでは。○ 身近にある文化財、施設が活かしきれていない。○ 若者が買い物できるお店がない。○ 商業施設が少ない。○ 新しくできる店、市境の向こう側。○ 道路が狭い。○ 危険○ 渋滞が多い。○ 情報が遅い。○ 情報発信。交野の魅力はまだまだある。○ 市のホームページが見にくい。○ HPでわからない。○ 市民活動団体、パワーの活用が十分ではないように感じる。○ 交通網があまりよくない。○ バスの本数が少ない？

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ①】

- イベントがたくさんある。
- 商店が多い。
- コミュニケーションがとれやすい。(人與人)
- SNSに載せたい。

【まとめ②】

- 犯罪の少ないまち

【まとめ③】

- 自転車が通りやすい。
- MAPとか、駅から自転車・歩いて移動。
- まち全体が楽しい。

意見・アイデア①

- ・ SNSの認知度が高い。
- ・ 通勤・通学以外で来る人が多い。
- ・ 年間イベント数多い。

意見・アイデア②

- ・ 犯罪件数が少ない。

意見・アイデア③

- ・ 駅の乗降客数が多い。
- ・ 行政の全力サポート体制
- ・ 交通満足度が高い。
- ・ 小・中学校の運動場をフリースペースにする。

④私たちができること

- 自分でイベントを開く。
- フリースタイルのイベントスペースを増やす。
- 防犯カメラを各個人で設置。
- 挨拶をする。
- 公共交通を利用する。
- 交通機関の関係者を育てる。

D班：都市環境系

目指すまちの姿②

自然を体験できるまち

①目指すまちの姿の内容

交野市に残るみどりは大切な資源ですが、ライフスタイルの変化などにあわせて環境も変化していきます。

大切なみどりを守るために、交野市に残る自然や農地を活用し、みどりの豊かさを体験することで市民一人ひとりが身近にあるみどりの大切さを感じます。

②関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 自然が豊か。○ 水がおいしい。○ 貸し農園が身近にあり、楽しめる。○ 山が近い。○ 水辺○ 交野市駅を降りてすぐに田んぼと出会える。○ 農村の雰囲気と歴史が感じられる。○ ほどよい田舎まち。○ 子育て環境がよい地域。○ 教育環境○ 自然が多く、子育てしやすい。	<ul style="list-style-type: none">○ 自然の豊かさを活かしきれていない。○ 農家直売の朝市が次々に閉鎖されている。○ 情報発信。交野の魅力はまだまだある。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ①】

- 販売機会が増える。

【まとめ②】

- 農業への参加者が増える。

【まとめ③】

- 耕作面積の維持

意見・アイデア①

- ・ 物々交換のマーケットができる。
- ・ 道の駅がある。
- ・ 農業でまちの経済起こし

意見・アイデア②

- ・ 農地活用しコミュニケーション、イベント
- ・ アグリフットなまち（身近に田畑体験）
- ・ 有機農業を教えてくれる。
- ・ 自然体験、農業を体験できる機会が多い。

意見・アイデア③

- ・ 田畑が公園みたいに使える。
- ・ 子育てで利用できる場所が多い。

④私たちができること

- 農業スペースをつくる。
- 農作物を自分で作って自分で売る。
- 交野産を買う。
- 自治会での道づくりなどの自然保全活動
- クリーングリーン作戦のような自然保全活動

D班：都市環境系

目指すまちの姿③

心の風景があるまち

① 目指すまちの姿の内容

交野市の魅力ある山並みの自然や里山のみどり、歴史ある集落や計画的に整備された住宅等は、すべて市民の普段の営みによって生み出された風景です。

普段見過ごしがちなそういった風景が生活に結びつくことで大切な風景に変わる。そんな市民一人ひとりの心の風景を見つけることができます。

② 関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 自然が豊か。○ 川遊びができる。○ 水がおいしい。○ 貸し農園が身近にあり、楽しめる。○ 手頃な大きさ（自転車で市の端から端まで行ける。）○ 山が近い。○ 水辺○ 交野市駅を降りてすぐに田んぼと出会える。○ 星のブランコ、ハイキングコースなど、家族で楽しめる。○ 色んなものがある。○ 七夕伝説、地名○ 農村の雰囲気と歴史が感じられる。○ 身近に文化遺跡がたくさんある。○ 古い街並みを楽しめる。○ ほどよい田舎まち。○ 子育て環境がよい地域。○ 教育環境○ 自然が多く、子育てしやすい。○ 持ち家率、定住率が高い。	<ul style="list-style-type: none">○ 自然の豊かさを活かしきれていない。○ ごみが必ず落ちている。○ 公園とかが少ないイメージ。○ 動物の糞が多い。○ 中途半端○ 文化財があるのにあまり知られていない。○ 星のブランコ来場者と地域経済貢献へのつながりが感じられない。○ 都市計画の策定と運用施策がミスマッチしているのでは。○ 身近にある文化財、施設が活かしきれていない。○ 情報発信。交野の魅力はまだまだある。○ HP でわからない。○ 市のホームページが見にくい。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ①】

- 緑が見える割合を増やす。

【まとめ②】

- スポットが増える。

意見・アイデア①

- ・ 自然景観・都市景観 調和
- ・ 街路樹の数

意見・アイデア②

- ・ 景観ナイススポット（イス等）を増やす。
- ・ 景色を見るスポットがある。
- ・ 田畑が公園みたいに使える。
- ・ 古民家リノベして存在。
- ・ 子育てで利用できる場所が多い。

④私たちができること

- 映えポイントを探す。
- 自分の好きな風景や写真を発表する。
- 自分が良いと思う景観を SNS で共有する。
- 新交野八景みたいなまちの中の風景（の写真等）を公募する。
- 役所がイベントの仕組みを考えて実行する。

E班：自然・文化・歴史・生涯学習系

目指すまちの姿①

あらゆる人がいきいきと活動できるまち

① 目指すまちの姿の内容

- ・市民等が活動しやすいような環境づくりが行われています。
- ・市内外の人が交野をフィールドとして活発に活動を行っており、人と人とのつながりも生まれています。
- ・活動場所となる施設にあらゆる人が容易に行くことができます。
- ・さまざまな団体の活動に関する情報を簡単に得ることができます。

② 関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ 広すぎず、狭すぎず。○ 手ごろな大きさ（自転車で市の端から端まで行ける。）○ 遠方への交通が便利。（鉄道・道路）○ 都心とのほどよい距離感○ 人がよい。（地域も、住む人も）○ 多彩な人材が豊富。○ 市民や団体の活動がいろいろある。○ ボランティア活動が盛ん。○ 地域のネットワークが強い。	<ul style="list-style-type: none">○ 情報発信。交野の魅力はまだまだある。○ 他市の人が交野市を知らない。○ 市内の移動が不便。○ 地域による利便性の格差○ 観光地へのアクセス○ 市民活動団体、パワーの活用が十分でない。○ 若者にとっての魅力がない。○ 市の設備が上手く使われていない。（公民館）○ プラネタリウムがあるのに活用されていない。○ 公共施設分散

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- イベントの参加者が増えている。
- 市内で活動する団体が増えている。
- 団体の活動内容を共有できるスペース（WEB ページ等）があり、閲覧する人が増えている。
- 施設等の利用率が上がる。

意見・アイデア

- ・ 活動団体が増える。
- ・ いろいろな活動グループのイベント報告や案内が市民に知れわたる。
- ・ 住んでいるまちを語れる。
- ・ イベントの参加者が増える。
- ・ 活動ジャンルが多彩。
- ・ コミュニティが成立する「心の安心」
- ・ 投票率が上がる。（イベントへの参加率）
- ・ 市民団体の活動が活発になる。
- ・ 子育て世代が増える。
- ・ 施設等の利用率が上がる。
- ・ 誰でも気軽に情報を得られている。（得る方法がある。）

④私たちができること

- 交野マーケット（あらゆる物）を開催する。
- まず自分が生き生きする。
- 小さなお手伝いでもいいので、できることはやる。
- 地域へのボランティア活動への参加。
- 朝の声かけ。「おはようございます」
- 活動基盤の整備。

E班：自然・文化・歴史・生涯学習系

目指すまちの姿②

市と市民が思いを共有できるまち

① 目指すまちの姿の内容

- ・市と市民が同じ方向を向き、理解を深め合いながら協力してまちづくりが進められています。
- ・市の施策の方向性を市民が知り、理解しています。
- ・誰にでも分かりやすい情報発信が行われています。
- ・市民等が活動しやすいような環境づくりが行われています。

② 関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ ワークショップがある。○ コミュニティ（人のつながり）○ 地元愛が強い。○ ボランティア活動が盛ん○ 市民の行政への協力意識が高い。○ 地域のネットワークが強い。	<ul style="list-style-type: none">○ 市としてのビジョンがよくわからない。○ 行政の発信力が弱い。○ 防災無線が聞こえない。○ 市のホームページが見にくい。○ 市民、地域のニーズ、意見の捉え方が不十分。○ 市民・市役所の感覚のずれあり（!?)○ まだまだ縦割り行政のところがある。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- 市と市民が互いの思いを確認し合える場が設けられている。
- 市と市民が同じ意識で物事を考えるよう習慣づけられている。(市独自の〇〇月間、〇〇の日の実施等)
- SNS の活用等、今の時代に合った情報発信が絶えず行われている。
- 市と市民がともにまちの魅力を情報発信している。
- 市の取り組みに対する市民の満足度が向上している。

意見・アイデア

- ・ 月々、テーマを。
- ・ 環境日（市独自）の設定
- ・ 自分達の意見が届く。
- ・ SNS を用いた情報発信。
- ・ 市民活動の活性化と連携。
- ・ 市の施策を応援・協力してくれる市民（団体）がいる。
- ・ 市民の満足度が高い。
- ・ 市民がこうなってほしいまちの姿が市の目指す姿と一致している。

④私たちができること

- 続けること、声を上げること。
- 市民の方から聞いた声・意見を共有する。
- アイデアを出す。提案する、形にする。
- わかりやすい情報発信を。市民が知りたい報にアクセスしやすい。
- 連絡窓口「〇〇→SOS」「〇〇→110」
- 定期的に市民意見交換の会を開く。
- 声を出し、仲間を増やす。
- 市民団体のネットワークづくり

E班：自然・文化・歴史・生涯学習系

目指すまちの姿③

環境を活かすまち

① 目指すまちの姿の内容

- ・美しい自然や景観が維持されています。
- ・自然が豊かなだけでなく、市・市民・企業の連携による自然を活かした取り組みも充実しています。
- ・一人一人の環境に対する意識が高まっています。
- ・交野の魅力をみんなが情報発信しています。

② 関係する交野の「良いところ」「残念なところ」

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none">○ ハイキングコースがある。○ 緑の多い里、山○ 空気・水がきれい。○ 水源が地下水。○ 自然環境を活かしたイベントが多い。○ 川遊びができる。○ 農村の雰囲気と歴史が感じられる。○ 自然が多く、子育てしやすい。○ 2つの滝や交野山がある。○ ほしだ園地、くろんど園地がある。○ 家の近くに田んぼがある。○ 地元愛が強い。○ 交野の環境を愛している人が多い。○ ボランティア活動が盛ん。○ 市民の行政への協力意識が高い。○ 市民や団体の活動がいろいろある。○ 都会の喧騒を（から）離れている。	<ul style="list-style-type: none">○ いいところがあるのにあまり知られていない。○ 景観が悪くなった。○ 川が汚くなった。○ 自然が失われている。○ 自然の豊かさを活かしてきれていない。○ 市全体は自然が豊かだが、市街地（例えば街路樹）が貧弱。○ 畑、田んぼが減っている。○ ごみが必ず落ちている。○ 市として緑をどうするかビジョンがない（具体策）。

③目指すまちの姿が実現したことを確認する方法

【まとめ】

- 環境が良いところでしか生育しない動植物が存在している。
- 子どもが農業または自然の中で遊ぶ楽しさを知る機会が設けられている。
- 豊かな自然環境を活かした先進的な取り組みが行われ、市外からも多くの人を訪れている。
- 環境を守る団体が増えている。

意見・アイデア

- ・ 名物をつくる。
- ・ 山が元気になる。
- ・ 良い環境の中でしか生育しない動植物がいる。
- ・ 子どもたちが農業の楽しさを知る。
- ・ 子どもたちが公園や自然の中で生き生きと遊ぶ。
- ・ 先進的な取り組み、環境をテーマ。
例) EVバイクの導入
- ・ それをPRして他市から人を呼び込む。
- ・ 交野の魅力を市民が発信して共有する。
- ・ 環境を守る団体が増える。

④私たちができること

- 交野の魅力発信デーにフォトを共有する場を設ける。
- 交野の環境を情報発信できる範囲で。
- お礼の声かけ。「ありがとうございます」
- 交野環境連絡協議会
- 環境を意識する。
- ごみ拾い。
- 身近なエリアでのごみ拾い。
- 里山募金

4 市民ワークショップ開催経過

■開催場所

交野市役所 別館3階 中会議室

■開催経過

回	日時	内容	参加者数
1	10月9日(土) 10:00~12:10	• 交野の「良いところ」「残念なところ」を見つけましょう!	27人
2	10月30日(土) 10:00~12:00	• 「良いところ」「残念なところ」から、交野がどんなまちになったら良いか考えましょう!	26人
3	11月20日(土) 10:00~12:00	• 「目指すまちの姿」を整理しましょう!	24人
4	12月4日(土) 10:00~12:00	• 「目指すまちの姿」の実現に向けて私(私達)ができることを考えましょう! • 「目指すまちの姿」にどこまで近づけたか確認する方法を考えましょう!	25人
5	12月25日(土) 10:00~12:00	• ワークショップのまとめ(案)について意見を出しましょう! • 「目指すまちの姿」全体を通じたキャッチフレーズを考えましょう!	26人

5

市民ワークショップ関係者

■参加者

(順不同、敬称略)

秋森 晃希	秋山 深幸
飯田 薫己	石原 祐太郎
伊藤 貴子	入江 豪宣
柴田 悠貴	九門 りり子
塩田 定俊	島崎 卓泰
清水 一宏	清水 保宏
田井中 紀子	高垣 京子
玉井 八恵子	保 洋典
近田 玄太	富岡 鉄太郎
長瀬 想陽	中村 慧太
野村 正也	波多 修
林原 史明	林 美瑛
原田 和彦	舟木 力
前田 晃汰	宮下 優介
室島 賢悟	山口 博之
山口 真希子	山口 玲子
山本 貴大	吉本 有希
山本 睦子	

■事務局

交野市 企画財政部 政策企画課
都市計画部 都市計画課

■運営支援

株式会社地域計画建築研究所 (アルパック)